

礼拝プログラム

2017年6月4日

司会: 倉野兄 奏楽: 大倉姉 通訳: スカーレット姉

前奏: Prelude

賛美: Hymn

使徒信条: * Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈祷: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

『なぜ聖霊が必要なのか?』

“Why do we need Holy Spirit?”

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝祷: * Benediction

* 印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままです。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー: スコット姉、ワトソン姉

グリーター: 井口姉、町田姉

ナーサリー: 本多姉、スタンクリフ姉

チルドレンチャーチ: 町田姉、奏姉

セキュリティ: 大野兄

来週、11日の礼拝

司会: 福島兄 奏楽: 西井姉 通訳: 本多兄

メッセージ: 「ヨハネ: 気質と性格は変わるのか?」

賛美: LP237、新聖歌222

アッシャー: スコット姉、ワトソン姉

グリーター: 井口姉、町田姉

ナーサリー: ワイトナック姉、ウイットワース姉

チルドレンチャーチ: 川久姉、アリエル兄

セキュリティ: ボウト兄

おしらせ

本日の礼拝後の予定

コーヒーアワー、バイブルスタディー
カレーランチ、ユース

■今日の礼拝によろこそいらっしやいました。心より歓迎します。また続けてお越してください。

■今日はカレーランチです。お楽しみください(カレーを作ってください方、キッチンでご奉仕して下さる方を随時、募集しています)。なお、このカレーランチと共に夏の修養会のバスのために最後のラブオフリングを募ります。ボックスを設置しますのでサポートをしていただけましたらさいわいです。

■今週の木曜集会はおやすみです。

■今年の教会総会は6月18日(日)です。来週の日曜日に総会資料をお配りします。

■5月21日に選挙が行われ井上純一兄、川久祐子姉が二期目の執事として再選し、町田かおり姉と大野幸子姉が婦人会役員として選出されました。お祈りとサポートをよろしく願います。

■現在、私達の教会から今年の夏期修養会には52名の方達が参加する予定です。第一次の締め切りは終わりましたが6月9日(金)まで\$20のレイトフィーがかかりますがまだ申し込みが可能です。牧師までおたずねください(バスはあと4席で満席です)。

今週の予定

7日(水) 水曜集会 7:30pm-

9日(金) ななみ会 10:00am-

恵会 10:30am-

10日(土) 白百合会 10:30am-

11日(日) 総会資料配布
理事会(25日に変更の可能性あり)

客不恵

『キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、かえって、おのれをむなうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。それゆえに、神は彼を高く引き上げ、すべての名にまさる名を彼に賜わった』(ピリピ2章6節—9節)

彼は世に知られぬ小さな村のユダヤ人の家に生まれた。母親は貧しい田舎の人であった。彼が育った所も世に知られぬ小さな村であった。彼は30才になるまで大工として働いた。それから旅から旅の説教者として3年半を過ごした。一冊の本も書かず、自分の事務所も持たず、自分の家も持っていなかった。彼は、自分の生まれた村から200マイル以上、出たことはなく、偉人と言われる有名人にはつきものの「業績」を残したこともなかった。彼は人に見せる紹介状を持たず、自分を見てもらうことがただ一つの頼りであった。

彼は、旅をしてまわり、病人をいやし、足の不自由な人を歩かせ、盲人の目を開き、神の愛を説いた。ほどなく、この世の権力者たちは彼に敵対しはじめ、世もそれに同調した。彼の友人たちは、みな逃げ去った。彼は裏切られ、敵の手に渡され、裁判にかけられ、ののしられ、唾をかけられ、殴られ、引きずり回された。彼は十字架に釘づけにされ、二人の犯罪人の間に、その十字架は立てられた。彼がまさに死につく時、処刑者たちは彼の地上における唯一の財産、すなわち彼の上着をくじで引いていた。彼が死ぬと、その死体は十字架から下ろされ、借り物の墓に横たえられた。ある友人からの、せめてものはなむけであった。

それから2000年、今日、彼は人間の歴史の中心であり、前進する人類の先頭に立っている。「希望と信頼に生きる—W・バークレーの一日一章」より